

2013年 9月 No20

「逃げ水」

副理事長 小林征司

「心嘯む 逃げ水を追い 五十路来て」 若い日に目指したものは決して大それたものではなかった。ただ、若い日は迷いの連続であり、我欲（利己心）が顔を出すことが多かった。

早く、この迷いと欲から抜け出したい。そう思い続けていた。

孔子の言葉を借りれば「40にして惑わず」とある。まさにそれが私の理想だった。生来の愚鈍さ故、何をするにも迷ってばかり。なかなか前に進めず困り果てていた。20歳になったとき早く40歳になりたいと思った。如何に鈍重な自分でも40歳までには、色々な経験を積み、周囲の人達の思惑も素早く感じ取れるようになり、様々な出来事への対応に今ほど迷わなくて済み、他人と争うような我欲も少しは治まるだろうと考えた。

一番の願いは出来る限り多くの先人達の言葉を書物から読み取り、40歳頃には自分の言葉で随筆や詩を創り、一冊の本にして自分の思いを表したいと考えていた。

だが、実際に40歳になったときには、まだ迷いの闇に包まれ、創作も進んでいなかった。そこで、後10年自分に猶予を与えた。孔子より10年遅れでも良いから迷いから抜け出そう。精一杯大きな譲歩をしたが、50歳になっても未だ、創作は進まず、迷いも欲も健在だった。それは、夏の日数十メートル先に現れては消える逃げ水のごとく私をからかい悔しがらせた。

それが冒頭の句である。この句を詠んでから20年近くが経ってしまった。

私は未だ迷っている。欲はだいぶ治まったが迷いはまだ消えない。

分かり切ってはいたが、やはり孔子には遠く及ばない。

—— B型設置を市や県に正式に意思表示 法人理事会が決定 ——

8月の理事会決定で、千葉県の前年度平成26年度施設整備調査票（県として新年度予算編成の基礎調査）を提出して、法人として障害者支援施設（B型）の設置を目指すことにしました。

法人の総会において決定された方針のもと、開設の予定地に一応の目途が立ったことを受けて、市を通じて県に対し意思表示したものです。

今後、県や国の審査が厳重に行われて、秋から冬にかけての時期に審査の結果が出される予定です。審査が通れば、資金や人材のこと、開設場所の改修などたくさんのハードルをクリアしなければなりません。理事会は、勿論一生懸命頑張りますが、会員の皆さんもぜひ一諸に、事業達成のために協力をお願いします。

優先調達推進法による四街道市からの受注

書類の封入や議事録作成

障害者優先調達推進法が施行され、四街道市では早速障害者団体に業務の発注が行われました。どんぐり工房では、2件の仕事を受注し、メンバーと職員が張り切ってこれに取り組みました。一つは市民あての書類の封入、もう一つは会議の議事録をCDから文章に起こす仕事です。いずれも市の大事な仕事です。誤りの無いように丁寧に作業を進めて、期限内に無事納品する事が出来ました。

これからも、機会が与えられれば、積極的に受注をしようと話しあっています。

第4ブロック交流会が 四街道で開かれます

恒例の第4ブロック交流会が、今回はどんぐり工房が開催担当になり、地元の四街道総合公園体育館で11月8日(金)に行われます。

銚子、茂原などの遠来の仲間を迎えて、事業所の紹介やレクリエーション等楽しい意義ある一日を過ごす予定です。市内の「レクリエーション協会」をはじめ、ボランティアの皆さんにご協力をいただきながら、楽しい催しにしたいと利用者・職員は張り切っています。

2013心の健康フェア in ちば
「知ってもらおう、僕らのことを」
講演「ありがトンで 人生うまくいく」
講師 沢登和夫先生(うつ専門カウンセラー)
11月13日(水)10時 青葉の森芸文 ホール

理事会の記録 6月～8月定例会議

6月6日 *総会をふりかえって

*今後の理事会運営について 他

7月4日 *就労継続支援B型の開設の候補地の検討と計画の現状 他

8月1日 *平成26年度千葉県への施設整備調査票提出を決定(1面)

*4プロ交流会の開催計画 他

編集後記

この夏の暑さったら！さすがに7月から8月は、どんぐり工房にやってくるメンバーも少なくなって、元気であるのかと職員は心配のあまり、電話をかけて安否の確認を……。

幸い、大きく体調を崩している人もいなくて、暑さが収まると徐々に出席率も回復。まあ、ホッと。

そんなことをしている内にも、世間では、消費税、TPP、福島原発汚染水流出等、暑さが増す。そんな中、オリンピック東京開催決定！これが、震災復興と経済発展の真の起爆剤になっ欲しい。そして、オリンピックばかりでなく、社会福祉への財政配慮も政府は忘れないで欲しい。